

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 05 高齢者福祉の充実

主管課：介護保険課

施策の目的

高齢者が自立し、地域交流や社会参加をすることで、生きがいを持って生活できるまちを目指します。また、必要な介護サービスが受けられることで家族の負担を軽減します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自立し生きがいを持って生活ができる。 ・必要な介護サービスが受けられ家族の負担が軽減される。
-----	--

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
生きがいを感じている高齢者の割合	%	74.1	78.9	-	79.1	80.6	77.7	↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	90.8	84.6	-	84.4	78.3	86.8	↗

施策の達成状況(25年度)

高齢者が生きがいを感じている割合は、前年度に比べ低下したが、介護サービスが充実していると思う割合は上昇している。

生きがいについては、高齢者の社会参加の機会を身近に感じる社会的環境の整備の状況などが、判断材料となっているものと考えられる。高齢者人口が増加し、特別養護老人ホーム等の入所施設の不足が懸念される中、地域密着型施設の整備を図るなど、介護サービスの充実に努めており、目標値の達成には至らなかったが、向上しつつあるものとする。今後とも、高齢者が地域で健康を維持しながら、社会参加などによる生きがいを感じて安心した暮らしができるよう、施策の展開に努めてまいりたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	436,592	417,690	451,772	369,742	595,270
事業費(千円)	425,055	409,627	442,941	360,127	585,898
人件費(千円)	11,537	8,063	8,831	9,615	9,372

基本事業

01 地域交流と社会参加の促進

基本事業の目的

住民同士や地域内の交流、高齢者クラブ等への参加、ボランティア活動等を通じて、元気な高齢者を増加させます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で、生き生き生活できる(生きがいがある、健康である)。 ・住民同士や地域内で交流することができる。 ①事業等への参加 ②事業運営などの活動参加 ③ボランティア活動参加
-----	--

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数	人	4,693	4,880	4,796	4,681	4,626	4,601	5,200
誰かと交流している高齢者の割合	%	46.6	48.6	-	44.2	47.1	45.1	↗

基本事業の達成状況(25年度)

高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数は、減少傾向にあり、誰かと交流している割合も、前年度に比べ低下している。
 行政等による交流機会の利用などばかりでなく、個別に自ら趣味の活動をするなどといった、ライフスタイル等の多様化が影響していると考えられる。
 今後とも、社会福祉協議会が自治会を支援して実施している「愛のふれあい事業」やボランティア活動等の事業を通して社会参加の促進を図りたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	33,309	27,898	30,133	29,052	28,932
事業費(千円)	29,491	25,641	27,886	26,166	26,120
人件費(千円)	3,818	2,257	2,247	2,886	2,812

基本事業の目的

高齢者等の健康の保持・増進のための介護予防・自立生活支援サービスを充実させ、健康で自立した生活ができるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者	高齢者等の健康の保持・増進に関し、安定したサービスが受けられる。介護予防・自立生活支援の充実により生涯を通じて健康で自立した生活が維持できる。
-----	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
介護予防事業を利用している高齢者の割合	%	22.6	22.8	26.8	18.0	16.4	17.2	23
健康と思う高齢者の割合	%	69.4	65.1	-	69.7	72.5	70.7	↗

基本事業の達成状況(25年度)

実質の介護予防教室参加者数(事業利用者実人数)を増やすため、短期集中型の講座の実施など内容や形式を工夫して参加勧奨に取り組んでいるが、個人及び団体の新規参加者の掘り起しが難しくなっており、その結果事業利用者の延べ人数が伸び悩む結果となっている。また、高齢者を対象とした事業であるが、新たに65歳を迎える市民の数が急増しており、割合としての実績を上げることが難しくなっている。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	130,124	112,763	117,828	122,790	117,138
事業費(千円)	125,642	110,023	115,099	119,824	114,247
人件費(千円)	4,482	2,740	2,729	2,966	2,891

基本事業の目的

適切なサービスを提供することで高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続できるとともに、家族の負担を軽減することができます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

在宅の要介護者及び家族	<ul style="list-style-type: none"> ・介護状態に応じた適切なサービスの提供により高齢者が在宅で不便の無い生活を送ることができる。また家族による介護ができるようになる。 ・住みなれた地域で安心して生活が出来る。
-------------	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
介護サービス利用者のうち、居宅介護サービス利用割合	%	76.6	79.3	79.7	80.3	80.1	80.9	79.8
介護サービスの満足度(在宅福祉利用分)	%	84.0	-	86.8	-	-	86.7	↗

基本事業の達成状況(25年度)

介護サービス利用者のうち、居宅介護サービス利用割合については、高齢者人口の増加とともに居宅介護事業者も増加しており、在宅でデイサービスや訪問介護等を利用する割合は、ほぼ横ばい状態であるが、目標値を上回った。

また、介護サービスの満足度(在宅福祉利用分)については、デイサービス、ショートステイ、訪問リハビリサービス等の事業所が増えてきていることで、サービス等の選択肢が増えたことも、満足度の向上に繋がっていると考えられることから、引き続き、これらのサービスの質的向上のため事業所への運営指導に努めたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	3,273	10,806	4,257	8,260	3,623
事業費(千円)	2,775	10,081	3,535	7,538	3,155
人件費(千円)	498	725	722	722	468

基本事業

04 施設サービス機能の充実

基本事業の目的

在宅生活が困難な要介護者を施設に入所できるようにし、必要なサービスを受けることにより安心した生活を送ることができます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

施設入所要介護者等	・在宅生活が困難な要介護者等が、施設等において必要なサービスを受けて、安心した生活を送ることが出来る。
-----------	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
要介護度4以上の施設入所待機者数	人	238	229	269	253	232	244	200
介護サービスの満足度(施設サービス利用分)	%	85.6	-	87.3	-	-	87.4	↗

基本事業の達成状況(25年度)

高齢者人口の増加や施設の長期入所者が多いことなどから、待機者については増加したが、施設の新設が年度末であったことから、年度内での待機解消人数の影響が少なかったと考えられる。今後も高齢者総合計画に基づき、地域密着型の施設を整備するなど、在宅で介護が困難な方の入所需要に対応してまいりたい。

介護サービスの満足度(施設サービス利用分)については、今回アンケートの結果、満足度は初期値から向上しており、今後も満足度の更なる向上を目指し、引き続き施設の運営指導に努めてまいりたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	268,918	245,053	244,552	202,082	442,931
事業費(千円)	266,677	243,441	242,545	200,318	440,198
人件費(千円)	2,241	1,612	2,007	1,764	2,733